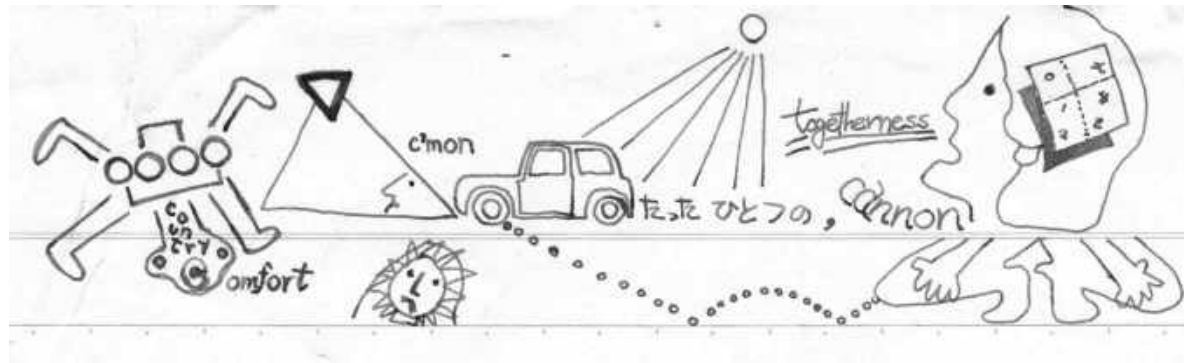


落書帳



伊井直行

レワニワ書房



Every man.

Every woman

You know a time fades away.

Sometime

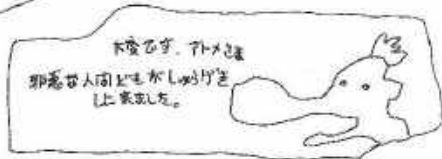
I live in the desert.



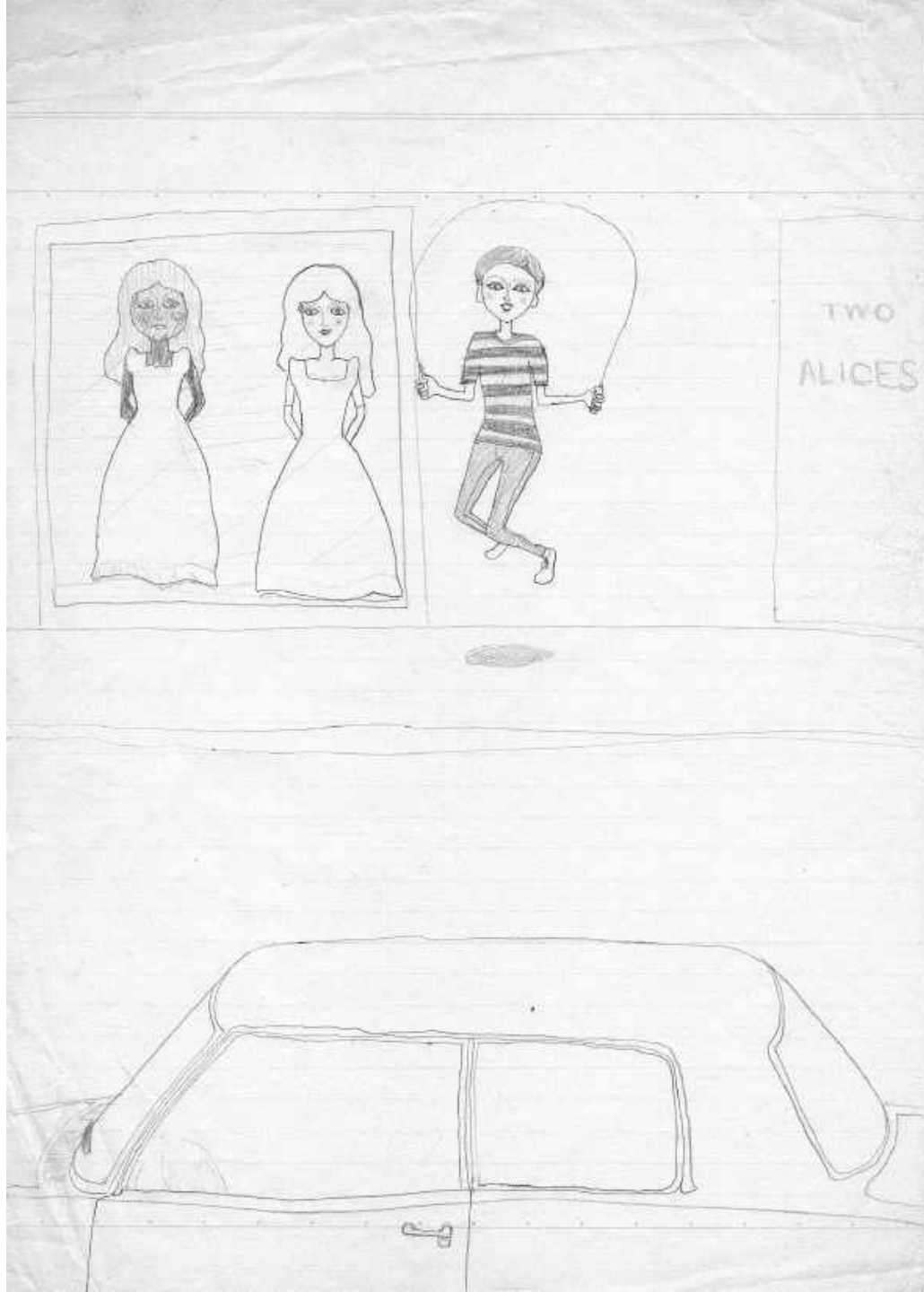
さて、これらの落書きは1970年代初め頃～1980年代半ば過ぎにかけて書かれたものである。左の絵には「赤瀬川原平様」とある。ファンだったのだ。座っている人物は赤瀬川作品からの「引用」かもしれない。しかし、絵自体は似ていない。そもそも技術が……という話はおいておこう。絵には私の「地平線趣味」がすでに現れている。大学1、2年の頃か。上の絵にはカットした部分に「ネジ式タイプ」とタイトルが入っていた。つげ義春のファンだったのである……（以下略）。



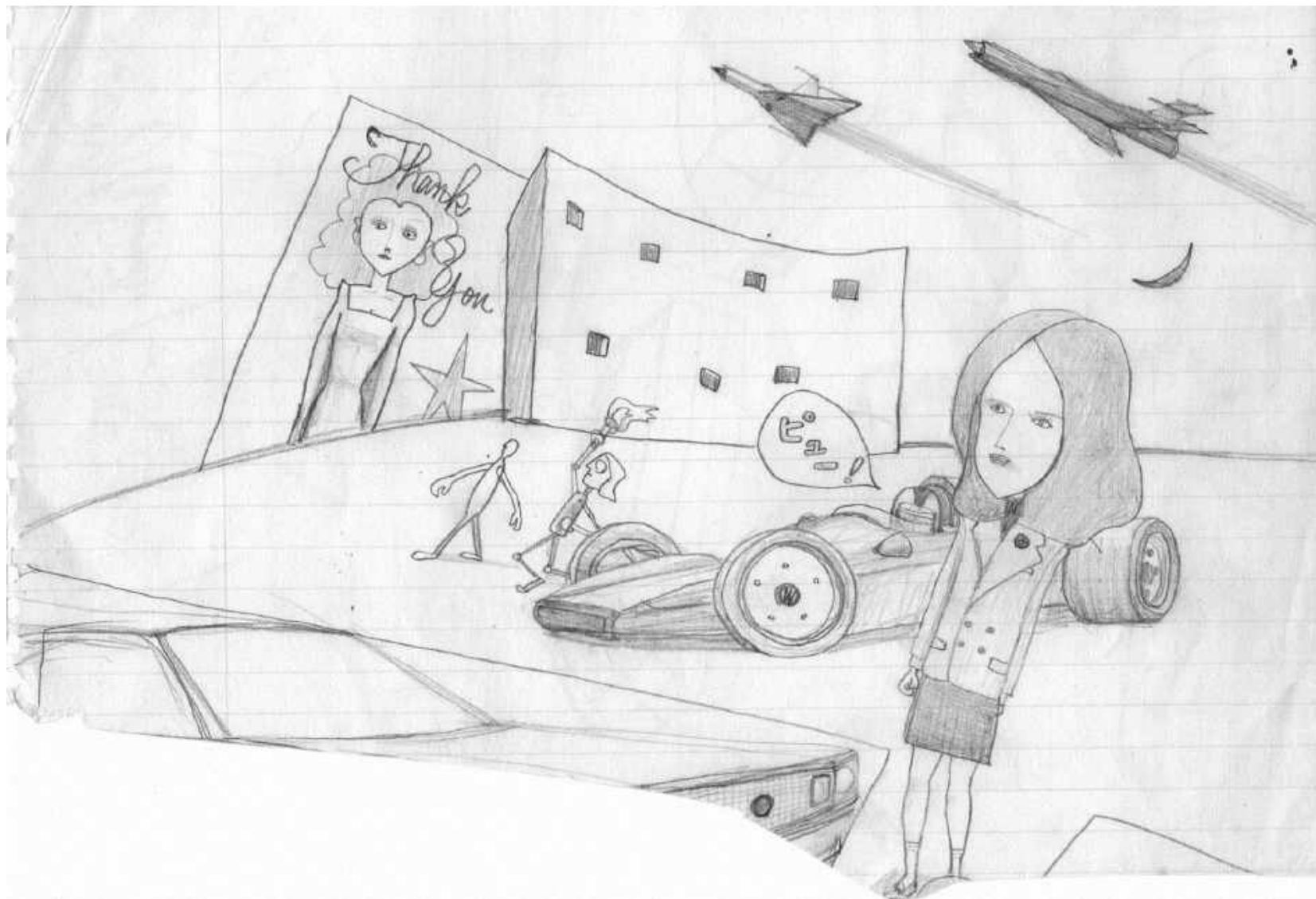
絵にある通り1973年、西洋史関係の大教室の授業中に描かれたもの。大学に入ってしばらく、学費値上げ反対ストライキで授業は行われなかった。「正常化」して講義が再開されたが、私は後ろの方の席でこんな落書きをしていたのだった。色んな要素をまぜこぜにした絵の最初期のものである。



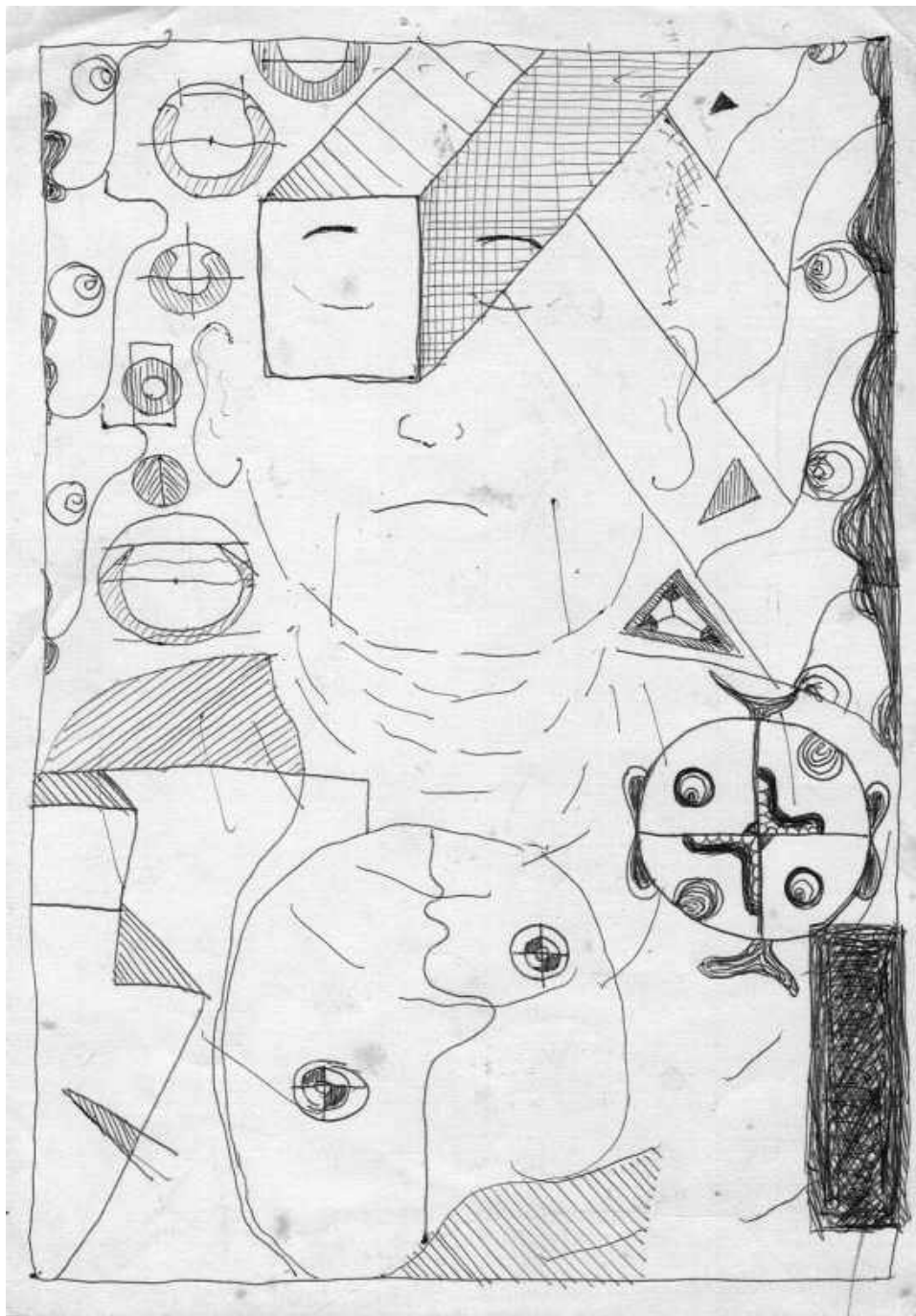




大学時代、ルイス・キャロル、「不思議の国のアリス」に強く動かされて詩みたいなものを書いていたが、絵の方ではそんなことは起こらなかった。「TWO ALICES」という(意味不明の)看板。なんでこんな絵なのか、皆目わからない。



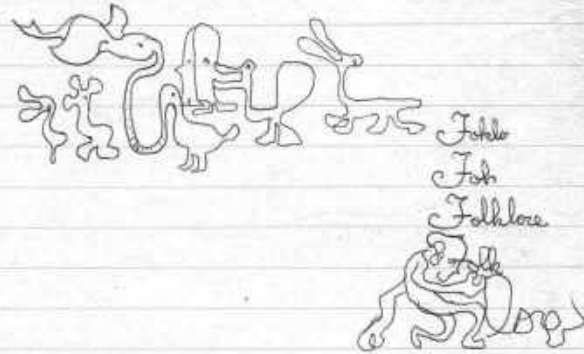
描いた後、こんな絵を描くつもりはなかったことを、なぜか鮮明に覚えている。1973～75年頃か。切れている方の自動車のフロントの形からの推測。



この絵を描いた日は正確にわかっている。昭和51年10月9日(土)である。民俗学考古学実習かなにかの授業を取っていた学生が、日本民具学会第1回大会の会場補助係として動員され、私もその一員だったのである。絵を描いたのは、会場入り口の案内用の紙の裏だった。この絵には同じ専攻の学生の顔が描かれているように思える。

民俗的調査 スケッチブック

集られるもの — 集らぬもの



QUESTIONNAIRE
Address



Date
Informant
Name, Sex, Year of Birth
Home Address, Place of Birth
Questioner

調査

人口のバランスをこわさない嫁取り (寒冷地の過ン村)

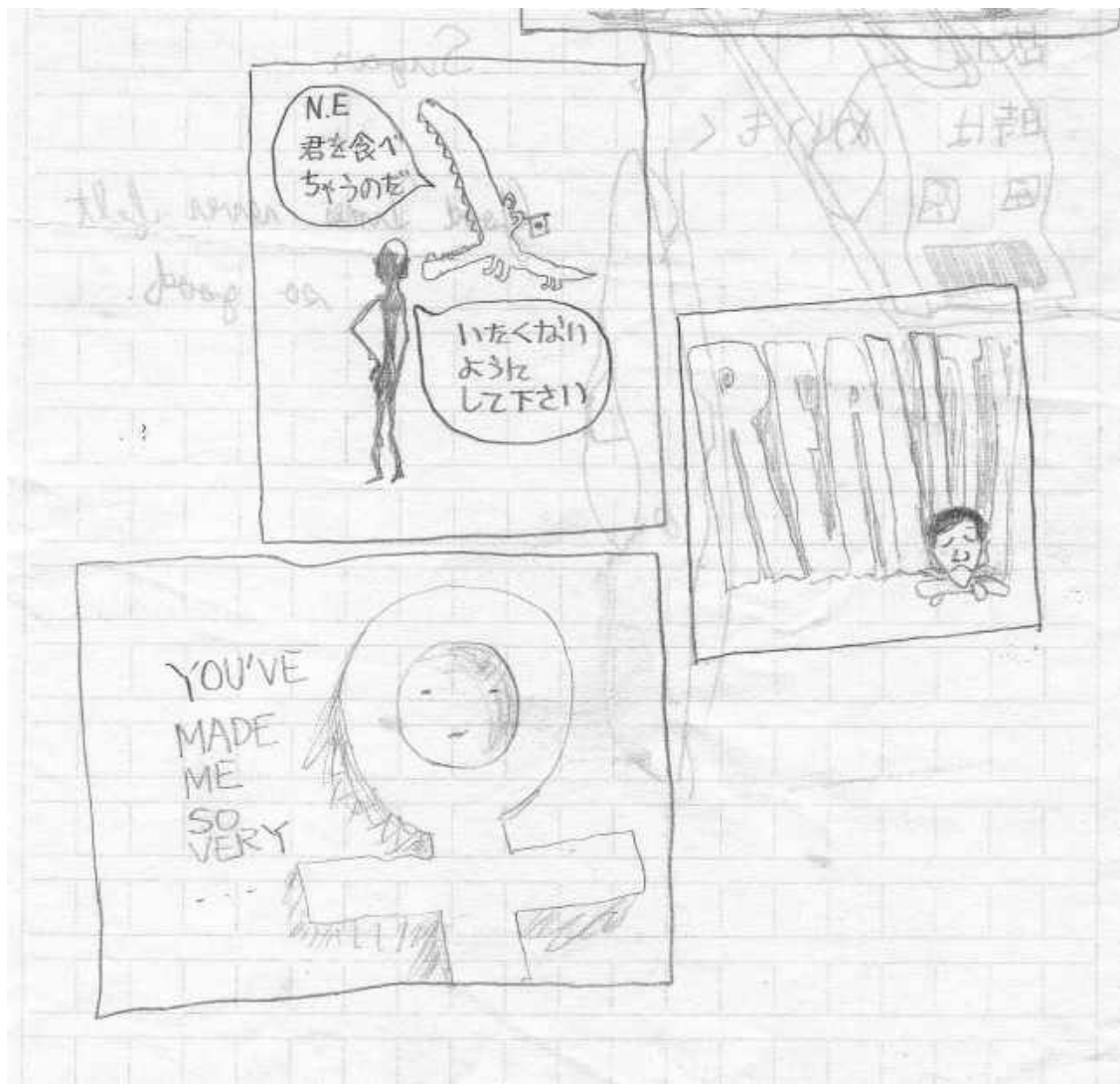
民俗誌としての民俗誌

民俗学研究会 (岩波全書)
民俗学の本びき

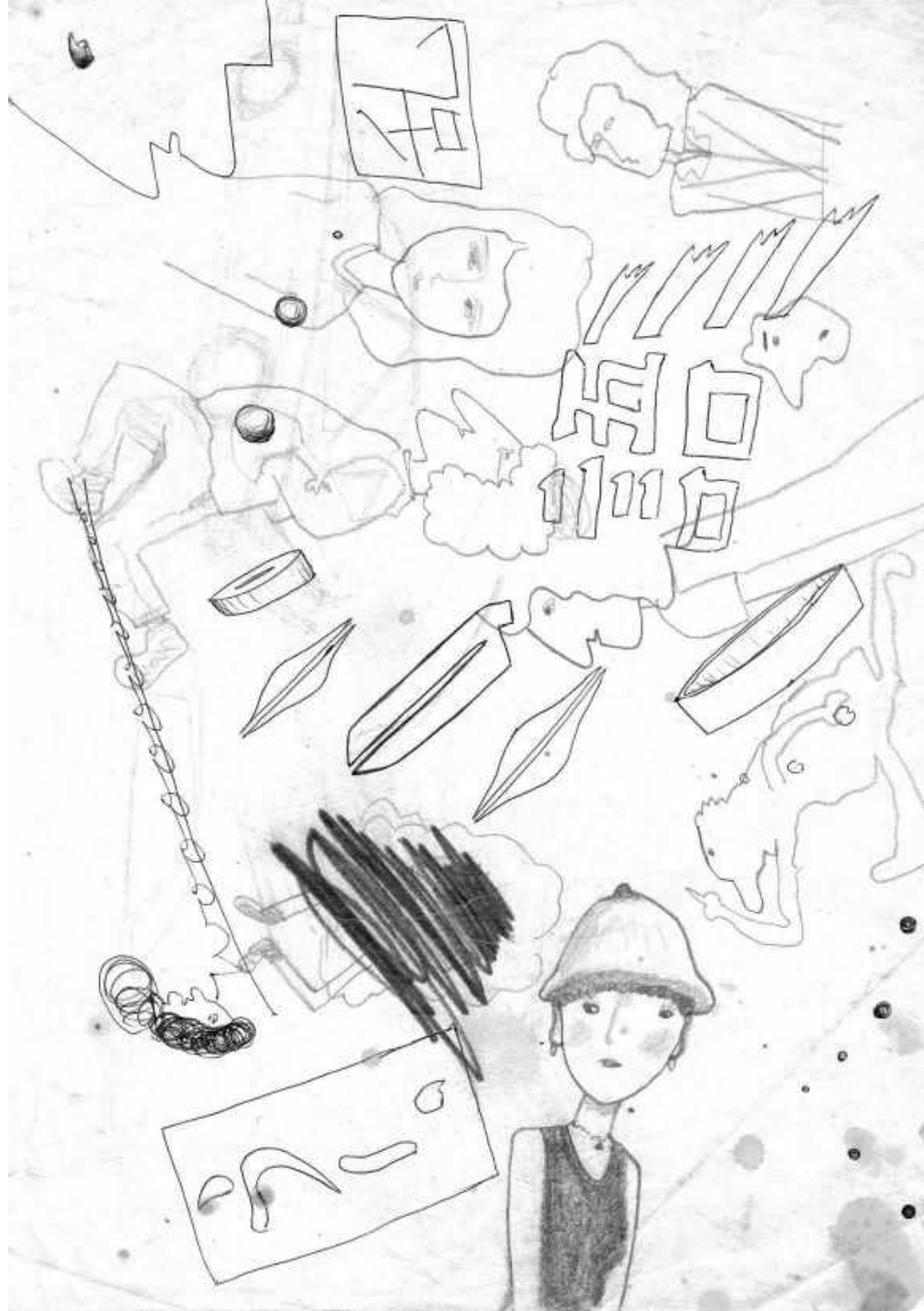




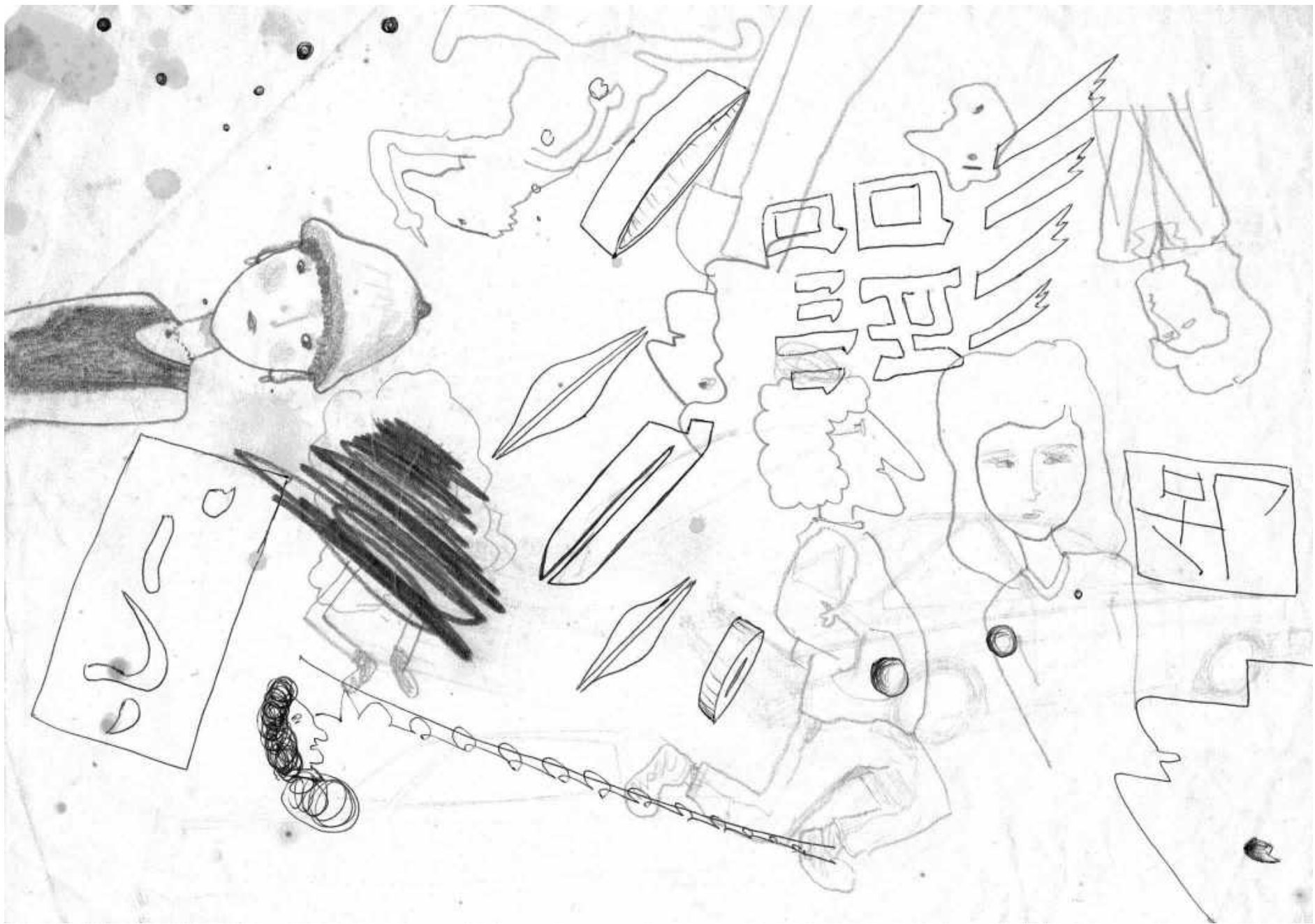
この絵を描いた年、場所を思い出せる。1973年(か4年)、東横線都立大学駅から遠くないアパートの一室。暇を持て余したのか何なのか、座り込んでいた座机(こたつ)の正面に見える上着とズボンを描いてみたのだった。今だと制服に見えそうだが、普段の服装である。写生をしたのは後にも先にもこの1回だけである。

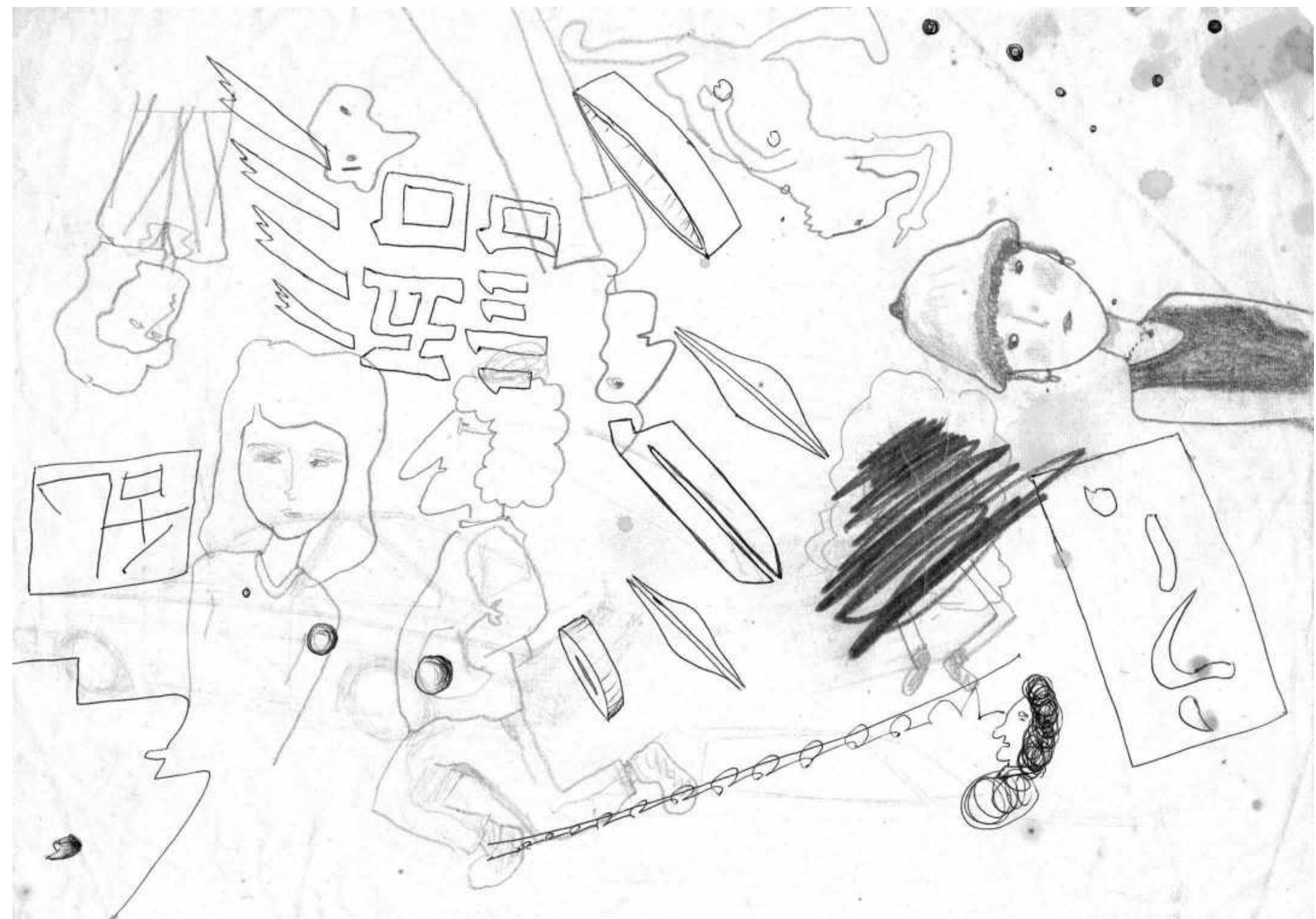


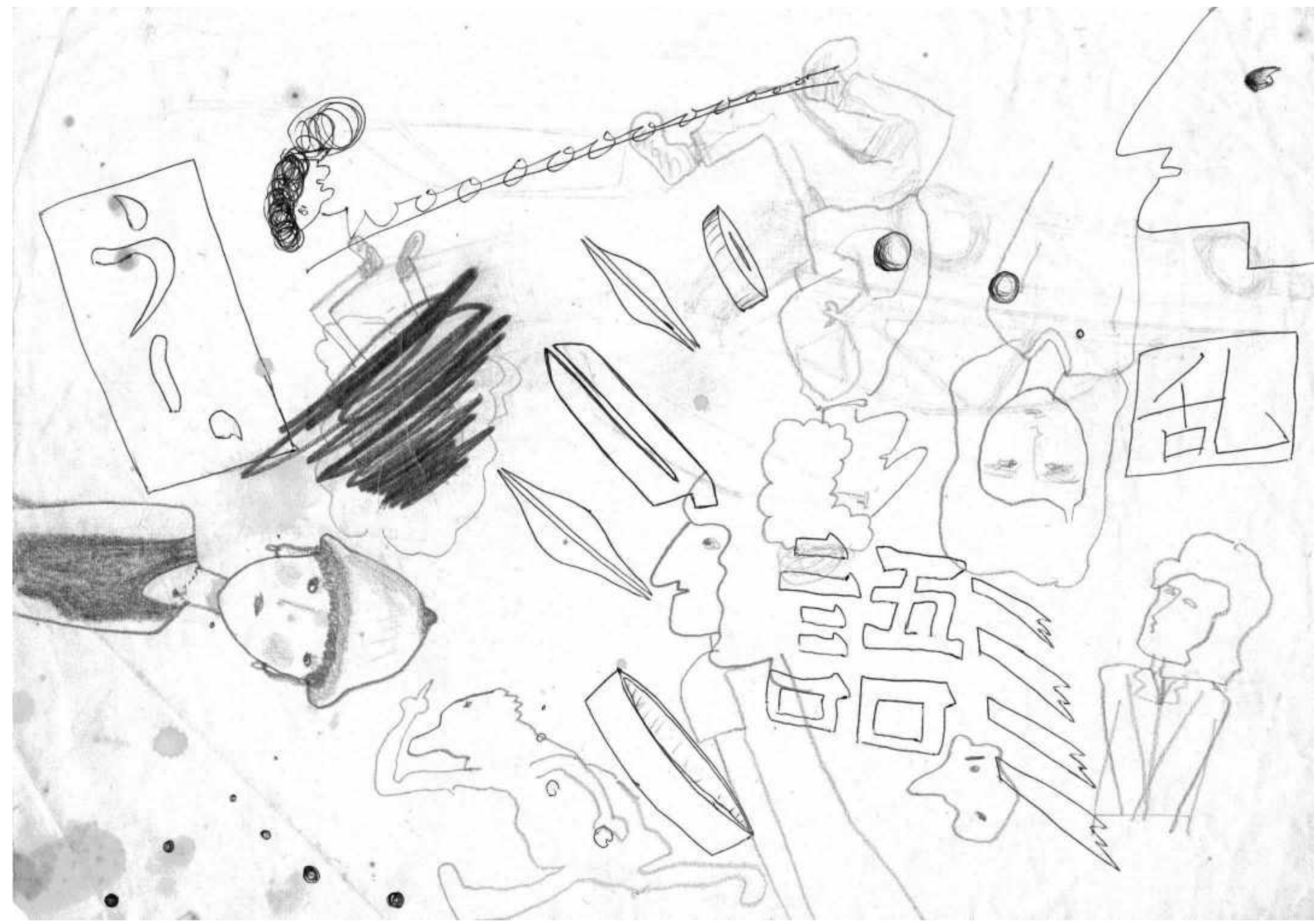
悲観的だったのは確かだ。その理由も描かれている。BSTが流れていた時代。

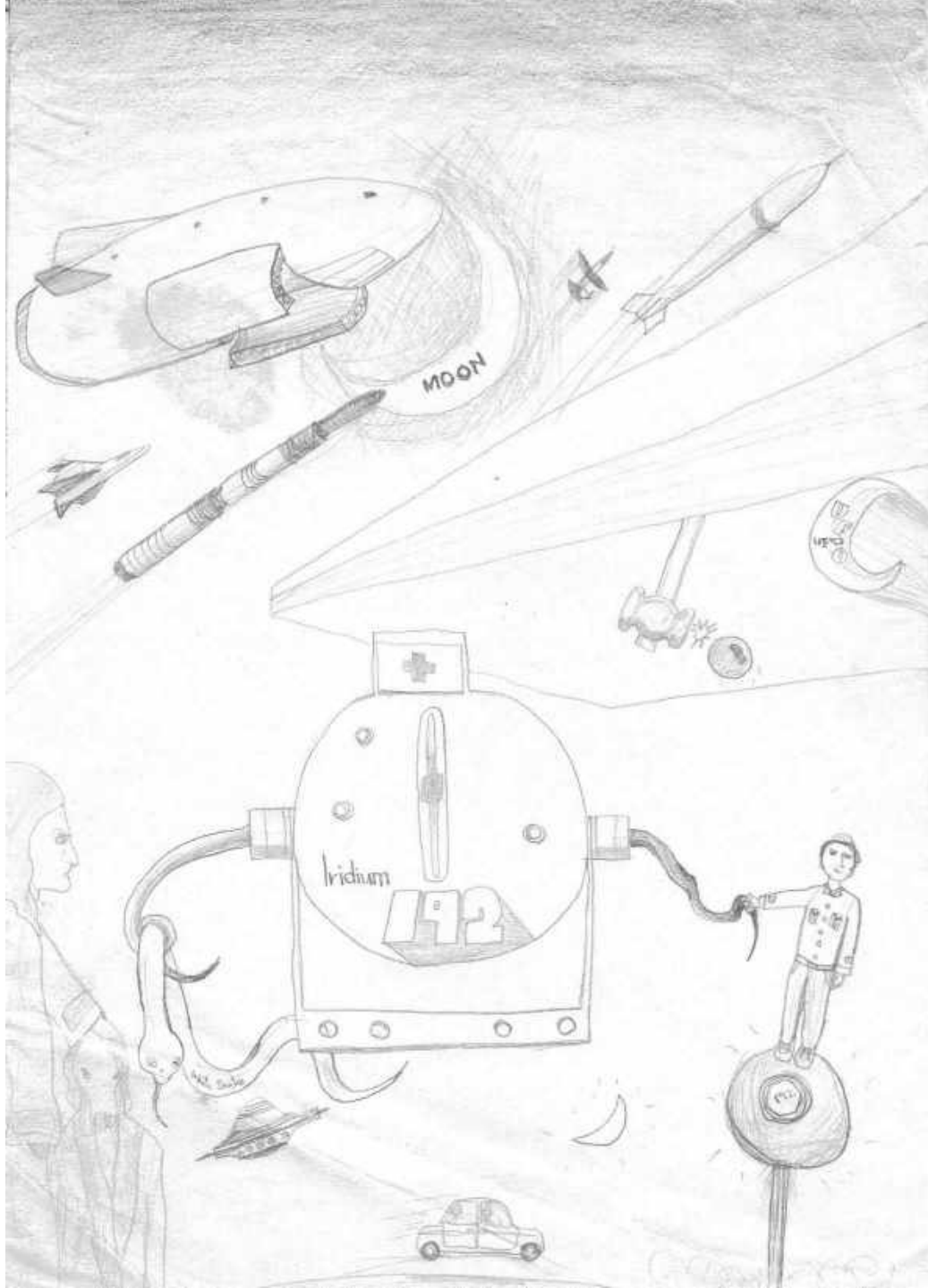


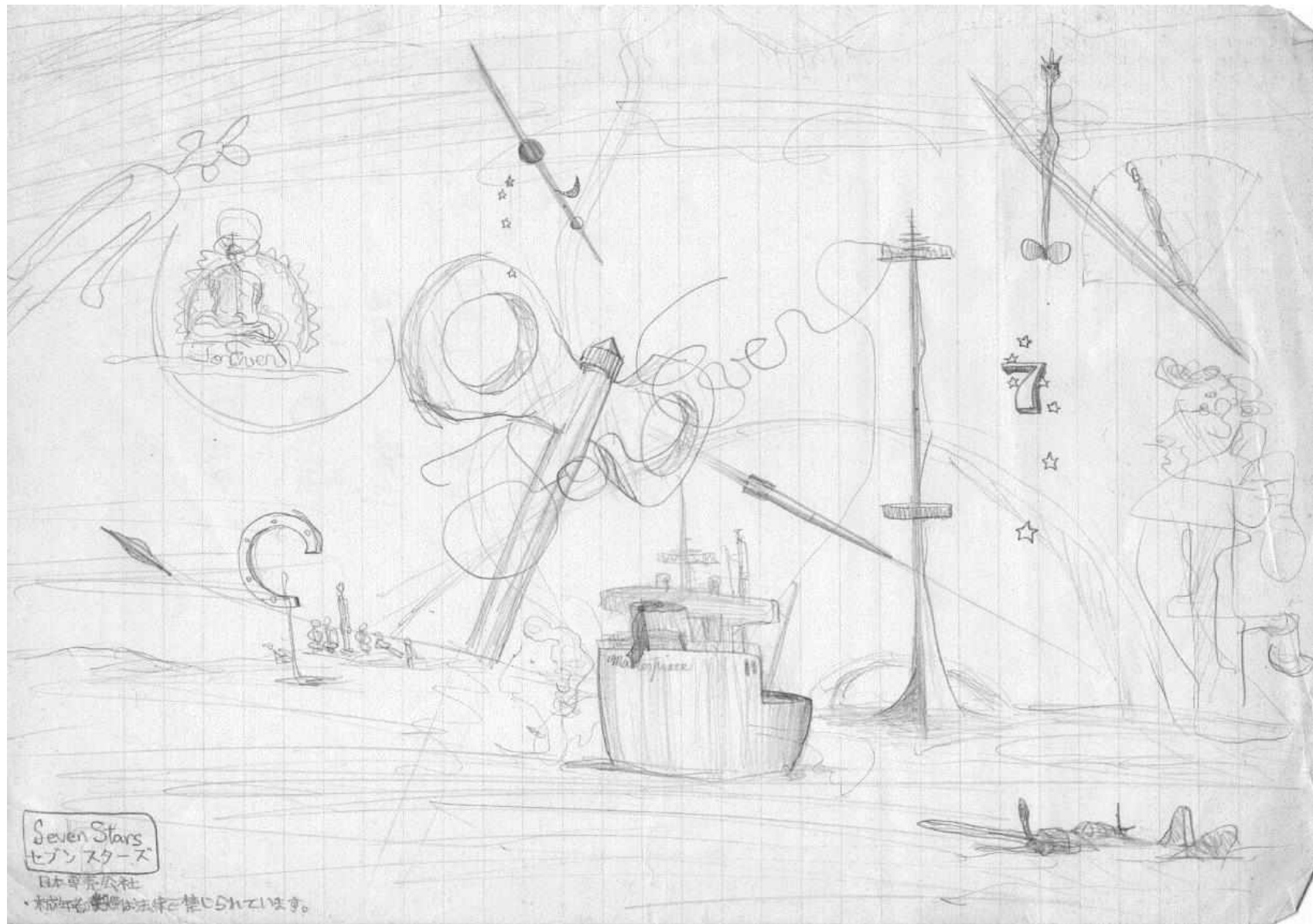
同じ絵を、回転させながら4枚並べてみた。こういう方向の定まらない描き方は何かの病理のようでもある。











Seven Stars
セブンスター

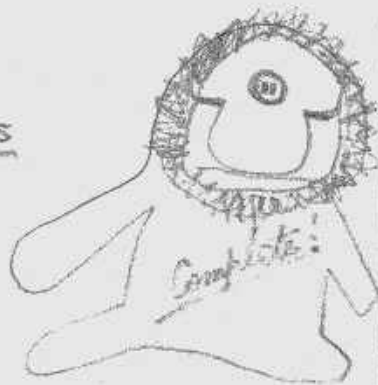
日本専売公社

・本商標は法律で保護されています。

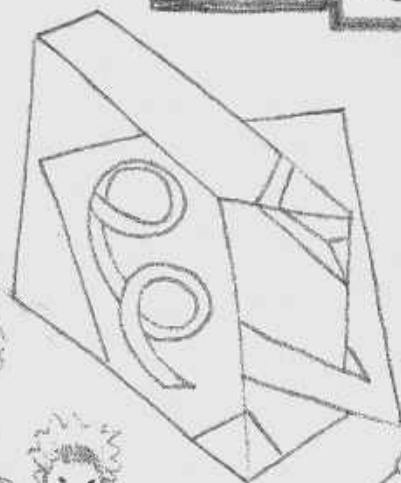


雲と波の地図

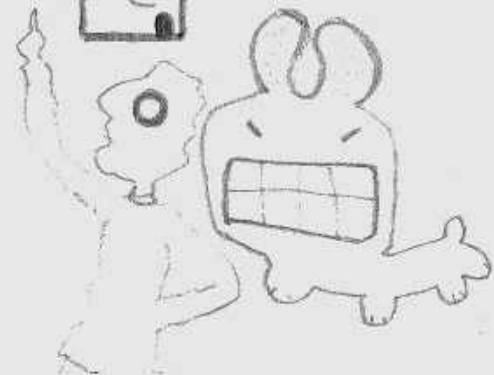
The First Complete Atlas of Clouds and Waves



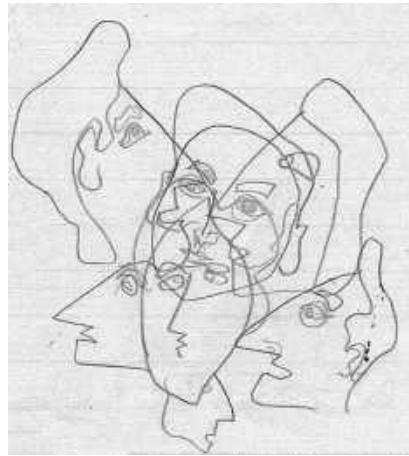
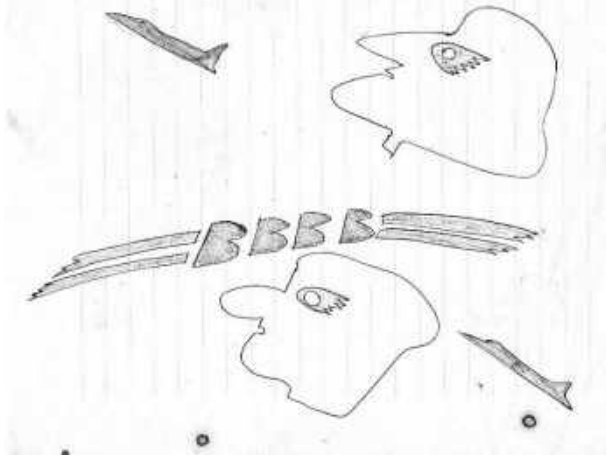
FGHI



今日は内臓の大きな雲古をした









謹賀新年

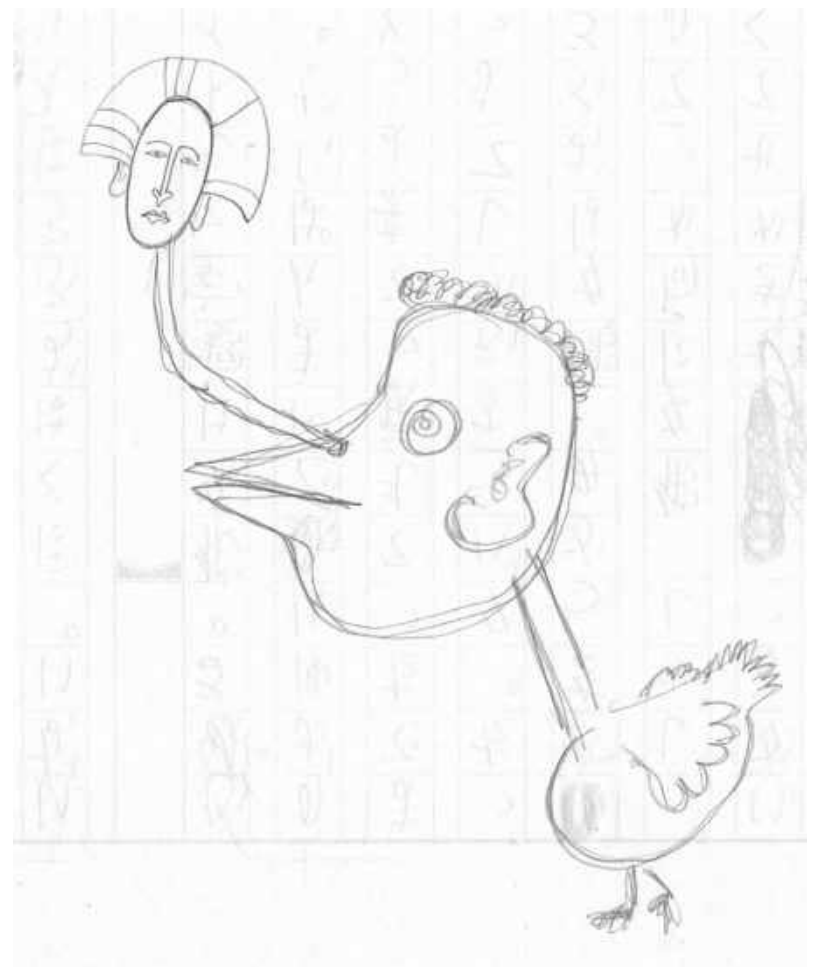
1985年1月1日

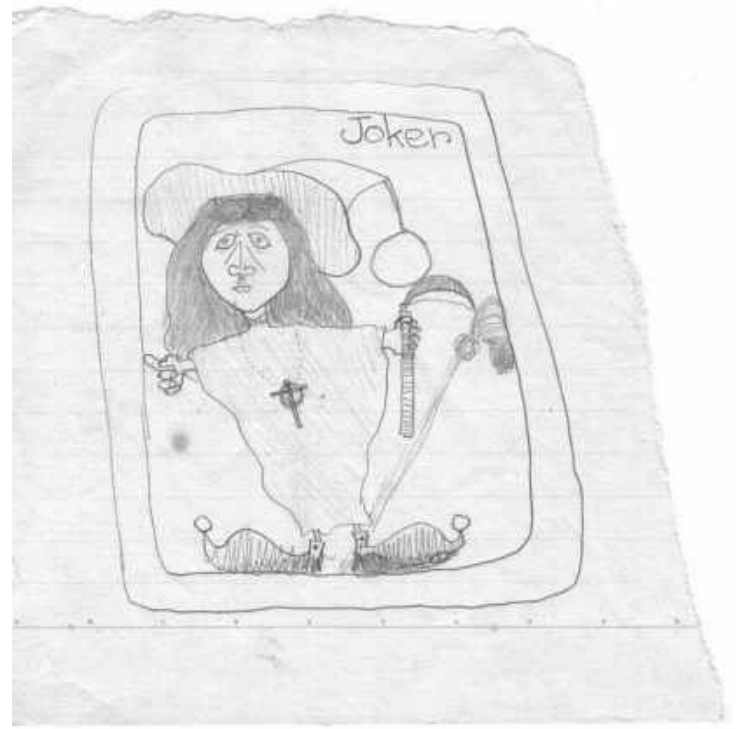
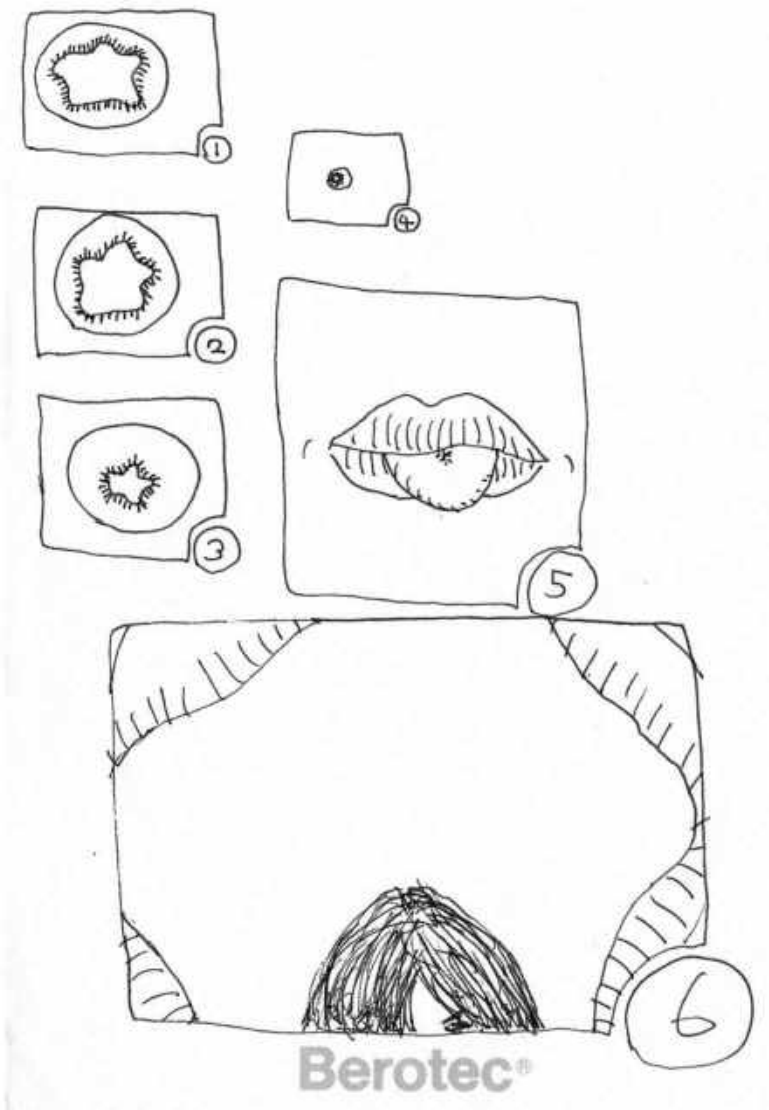


¥214



1985年1月1日

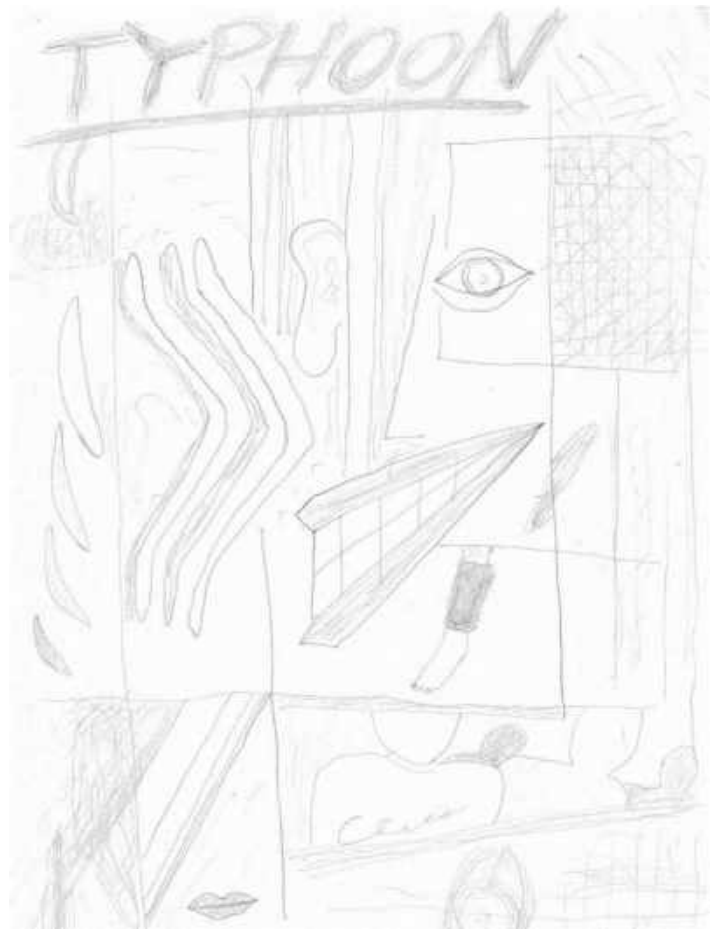




EGYPT

We mark you



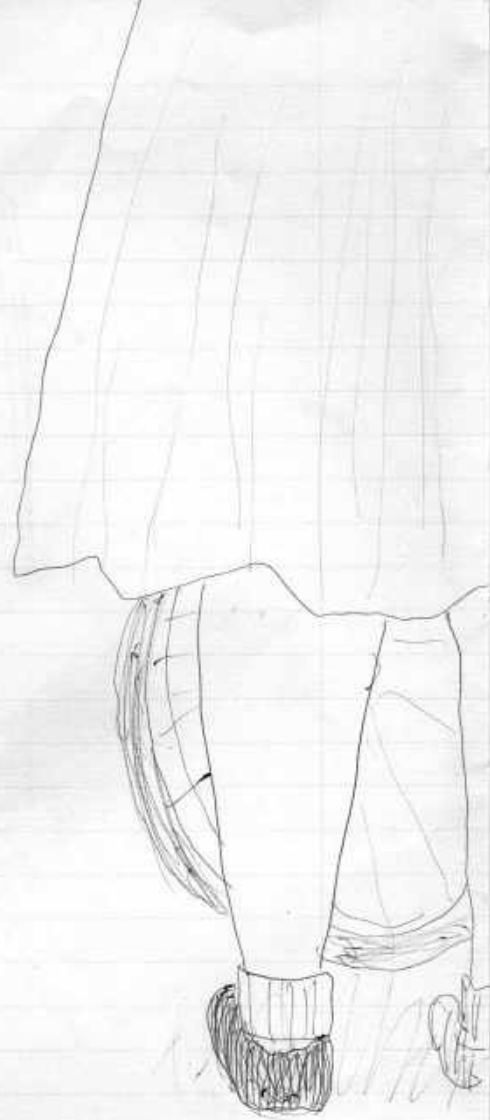








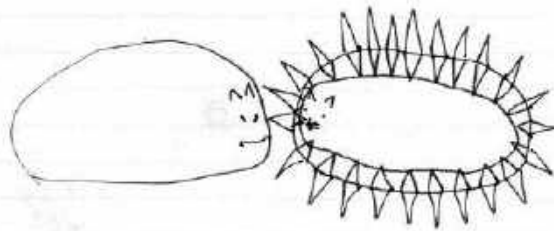
MUMU





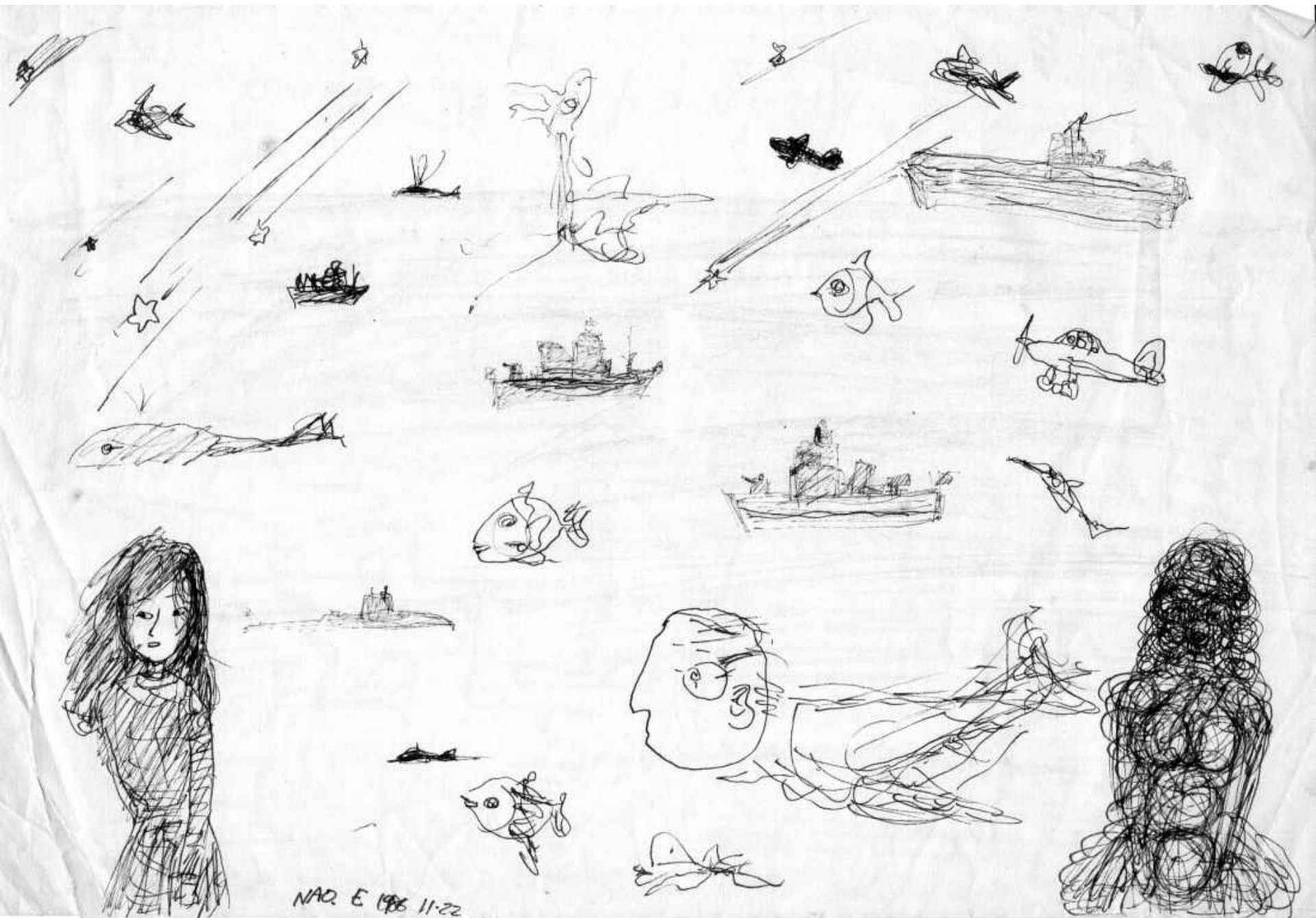


10³⁰⁰ Father Z⁺
 for
 for only
 love can esarate
 jazz I'm only
 only only
 What's going on

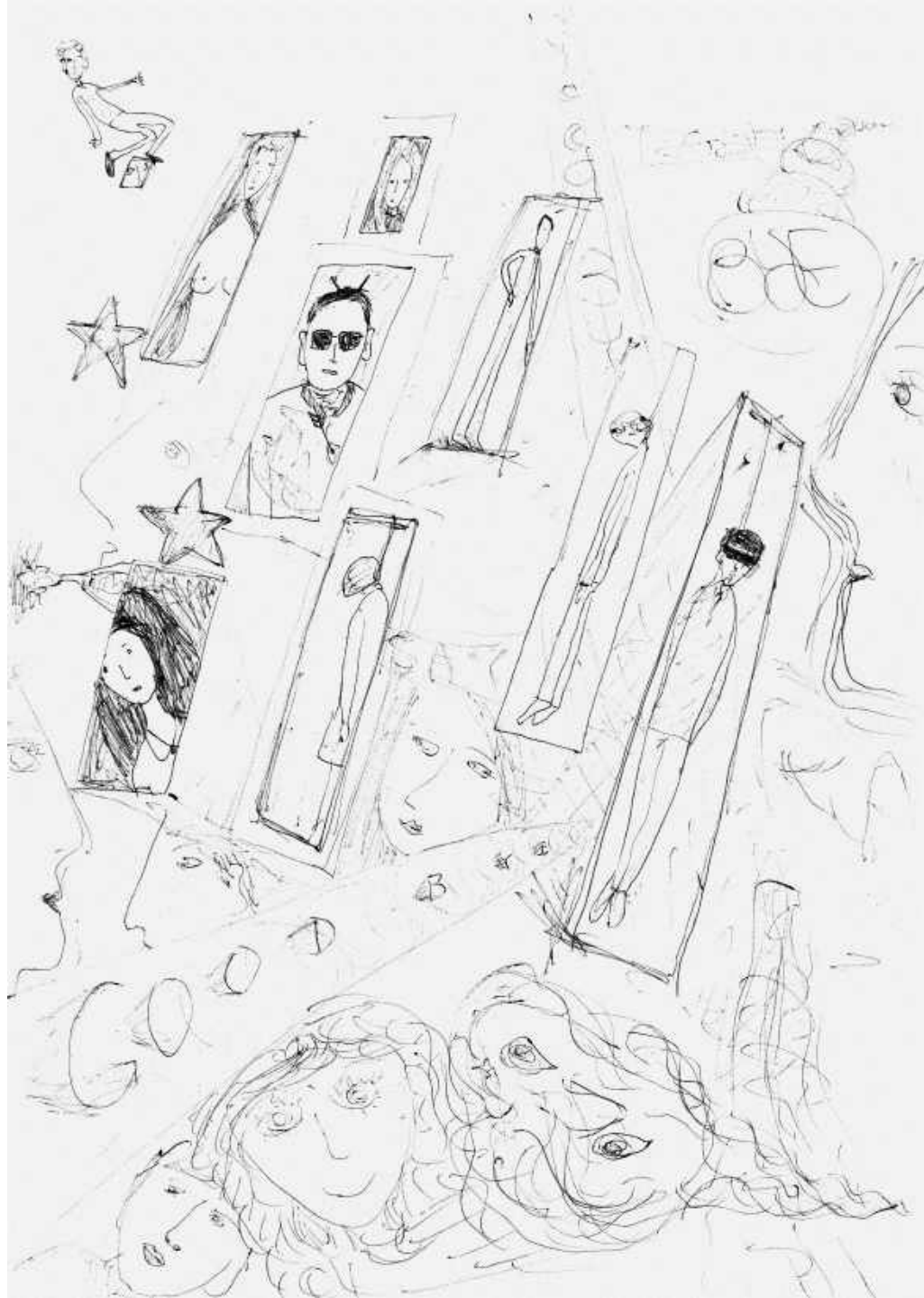


<ハシ・ナマコのジレンマ>

ハシ・ナマコの本体は、大きなトゲのはみをマクにつつまれていてマクと本体とは、本体の方につきまをトゲによってつながれている。トゲのおかげで外では(向かて)守られるわけだが、トゲが激にさねると中のトゲが本体をさして(傷)また、他のナマコ(外)はハシ・ナマコを嫌うのを(ハシに近づくのをさされる)友だちがいけない。同様に他のハシ・ナマコとも仲良くできない。ハシ・ナマコがどのようにして生きているのかは知られていない。ハシ・ナマコのまぶたからは、夜になると光る。



NAO E 1986 11-22



◎どうしたらいいだろう。これが人類の未来の姿だなんて
こんなことがあ、ていいものだ だろうか!

ああ!

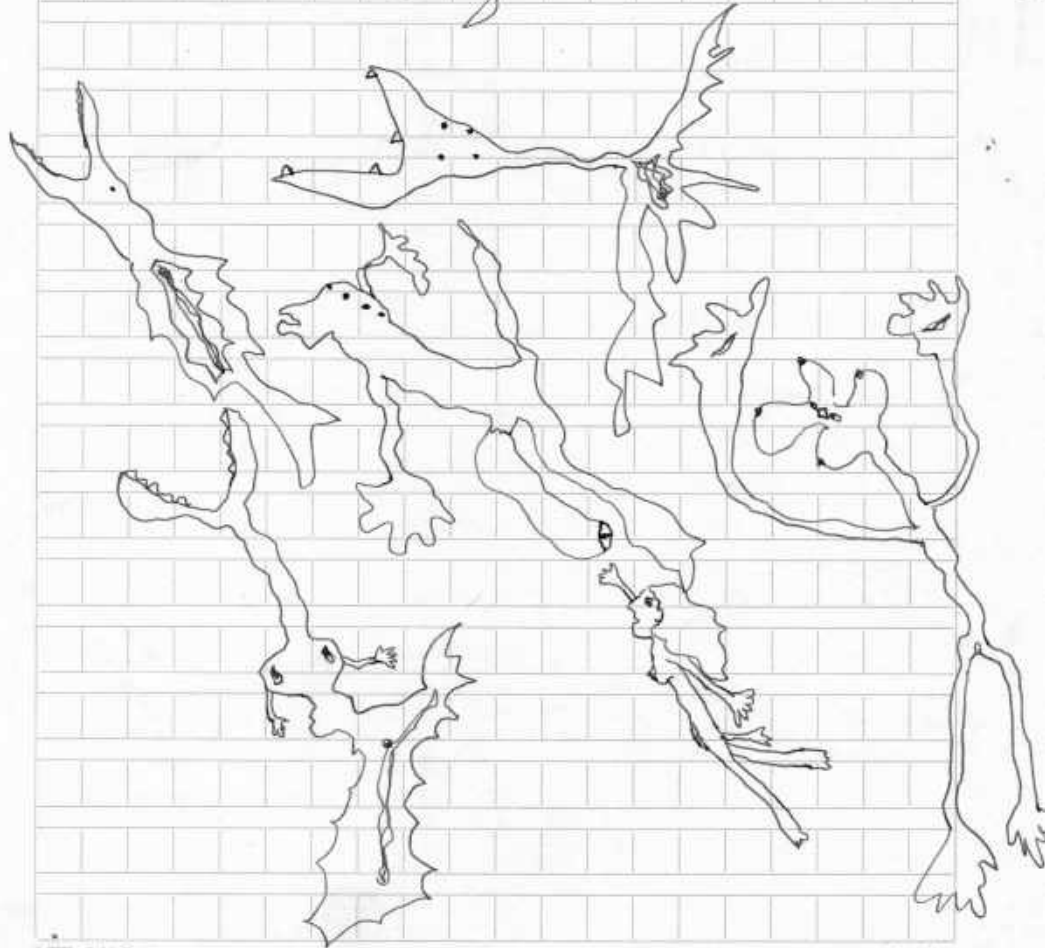
みてい

な

さ

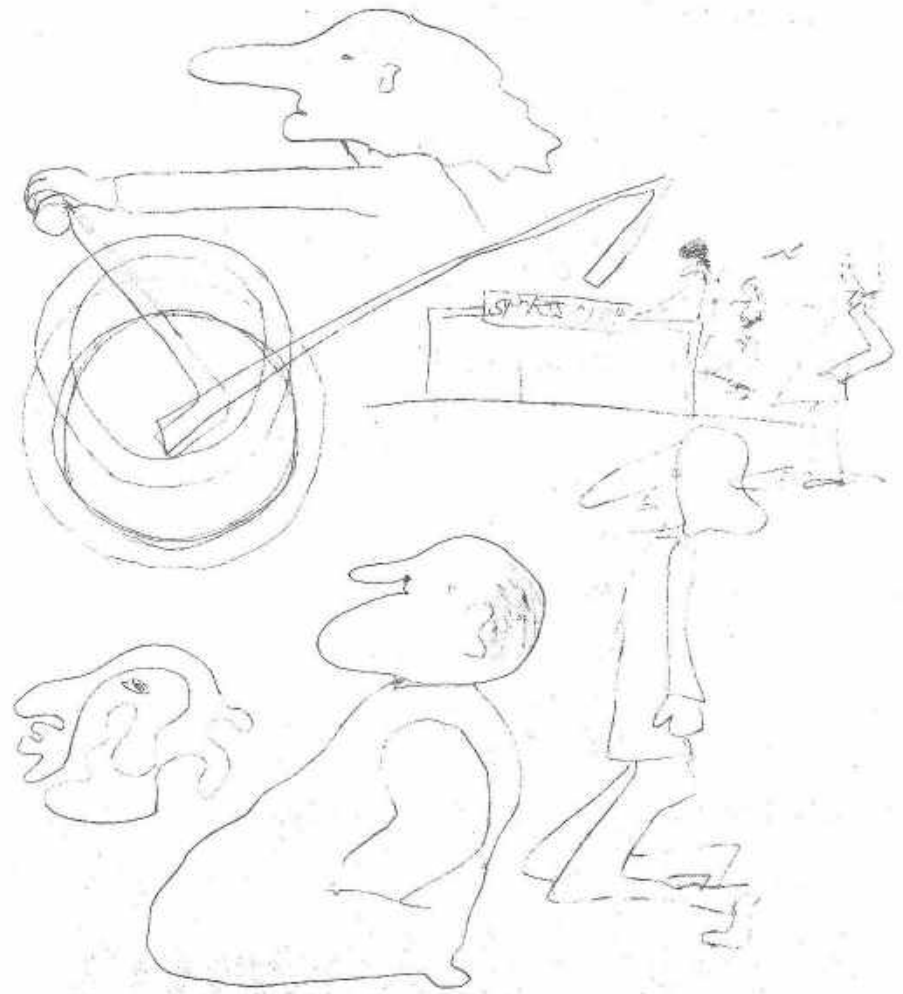
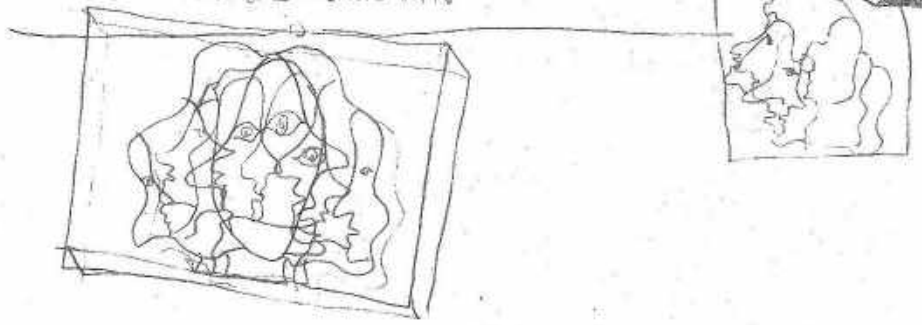
い

わ...



本は本には違くないが、近くまであるのが、
この世に抱いたものなどありはしない。

キコトク
カキモノ
Lipelle



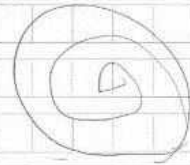
おはようございます

ううう

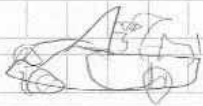
でもね、本当のところはよくわかっていないです。

どうなんですか
— とう。

おはよう



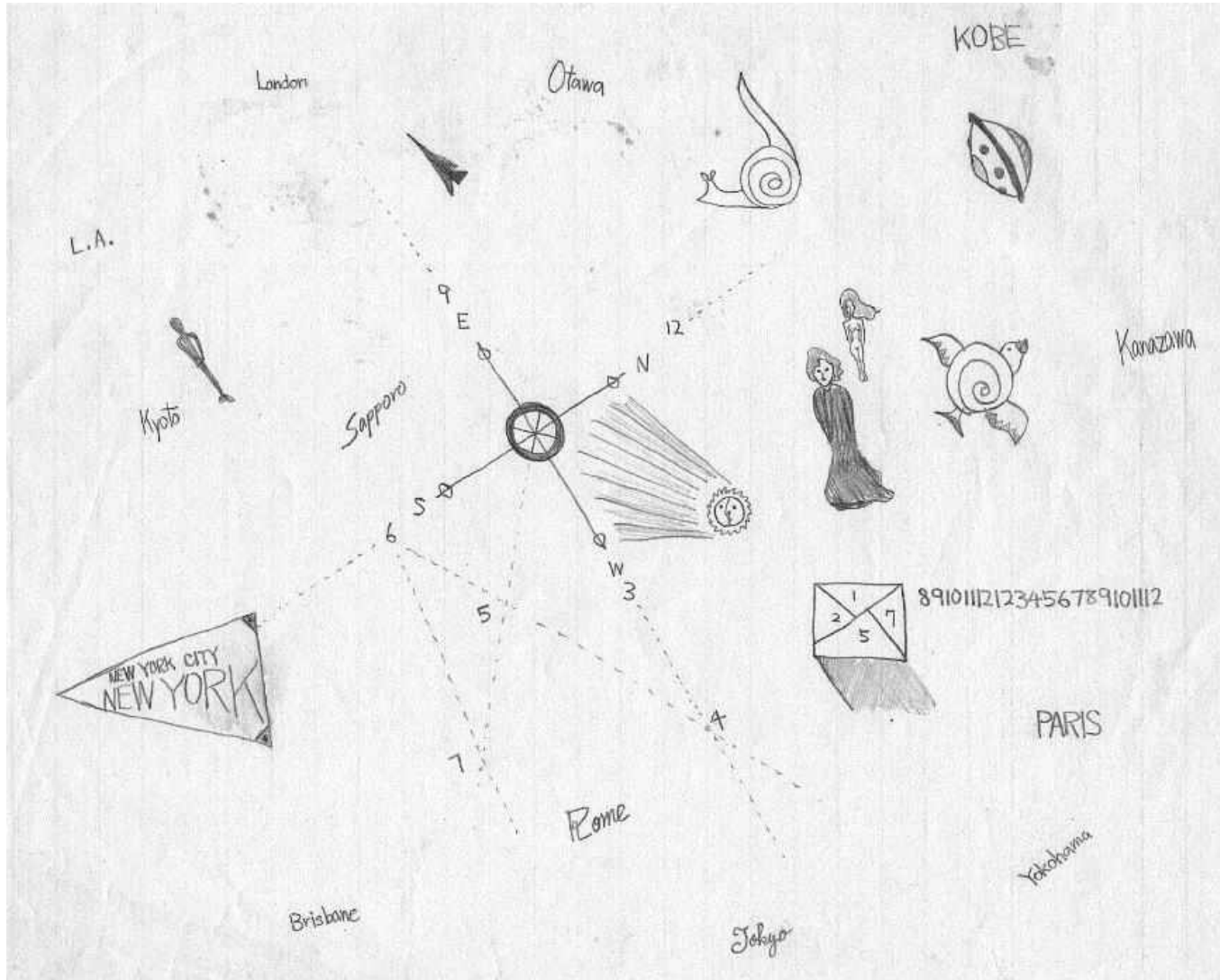
ううう



うううですか

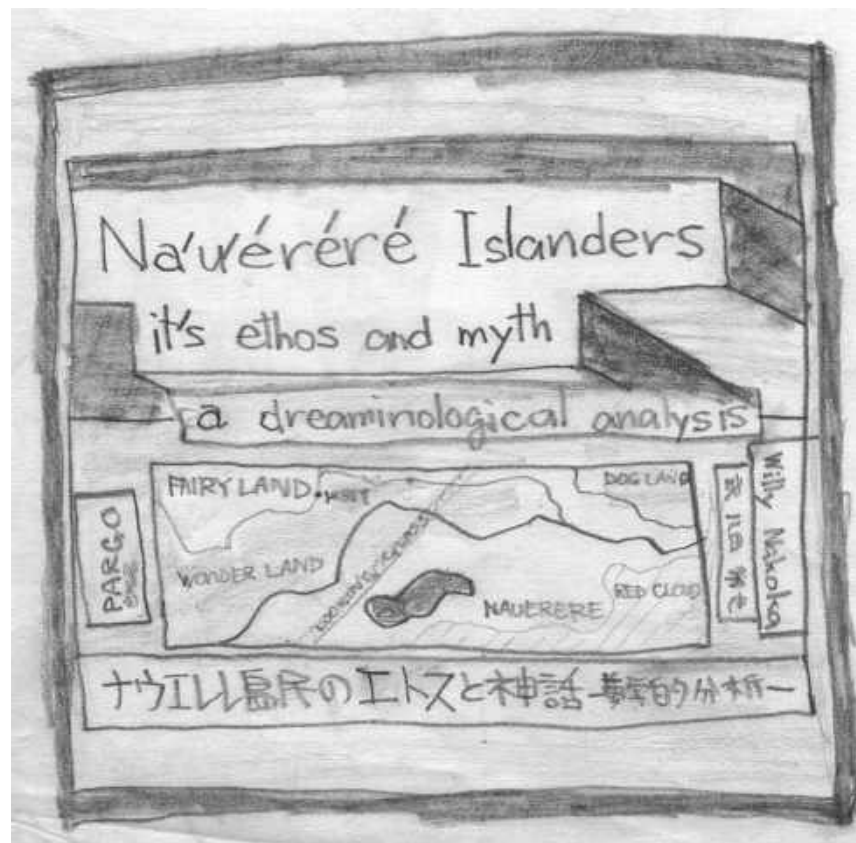


~~おはようございます~~
ううう

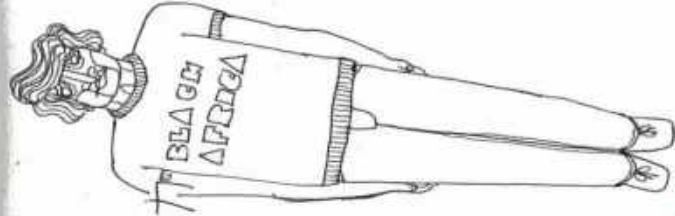
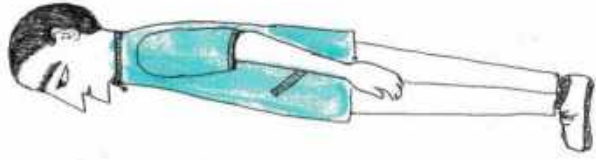


Aint Nothing
Like a
Real Thing

NOTHING
I HAVE





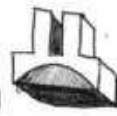


11
A



ROWAR

so alone



COPY
RIGHT HAND

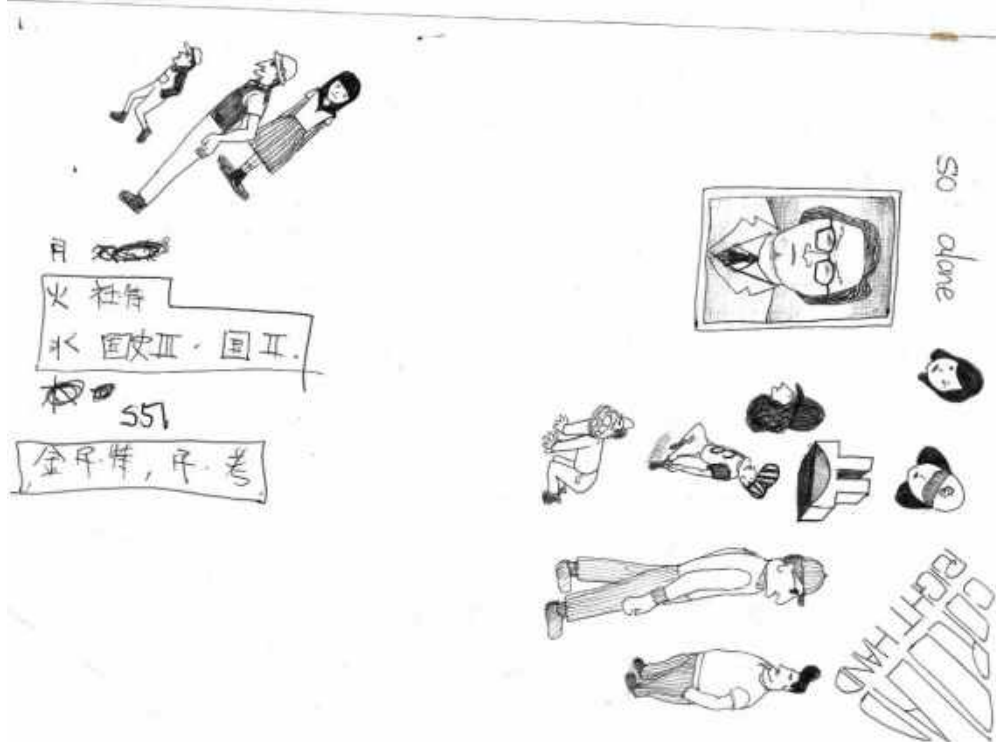


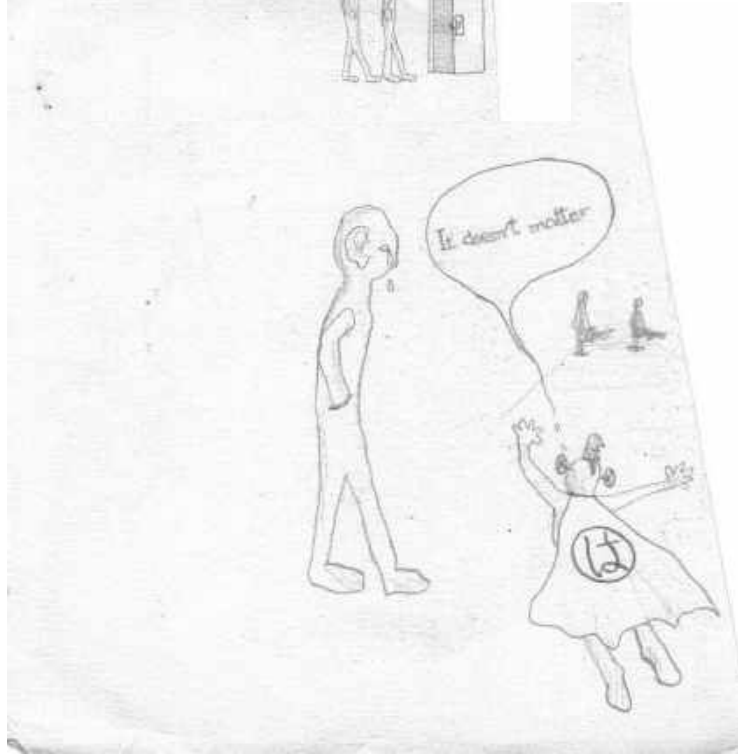
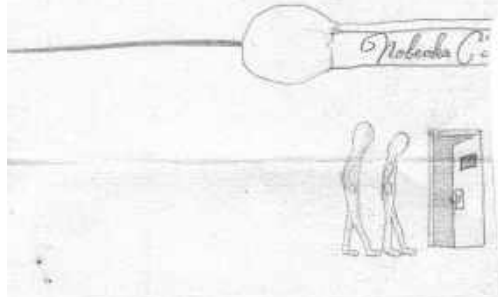
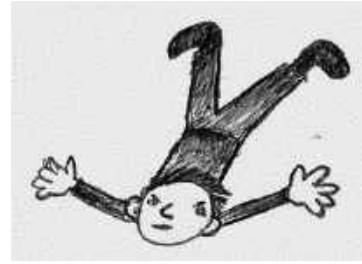
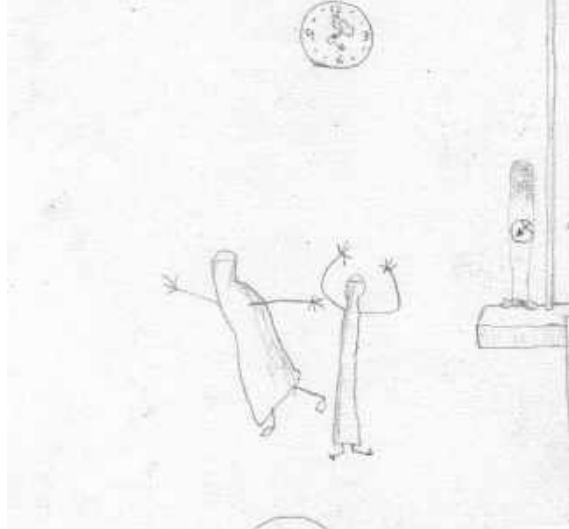
月 22

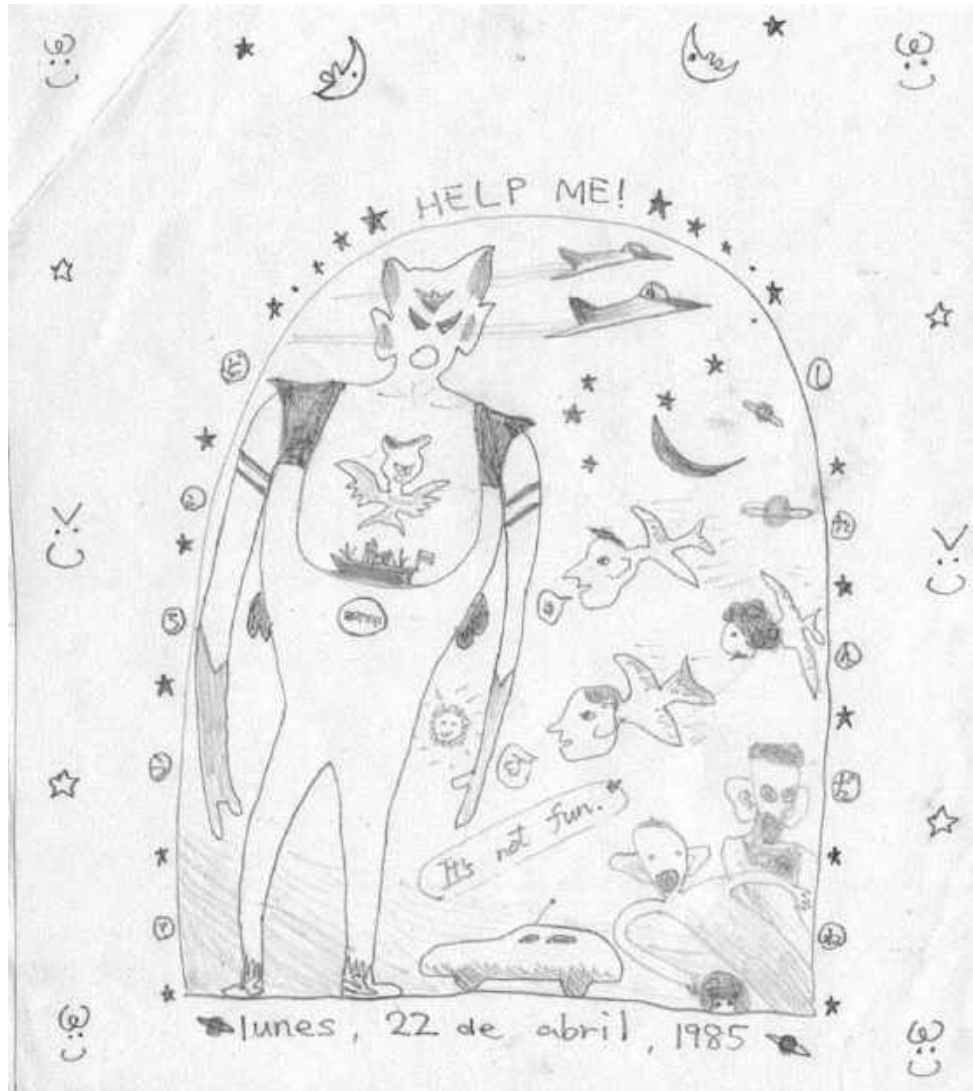
火 社特
水 医杖Ⅲ·国Ⅱ

本 551

金 年·特, 开·考









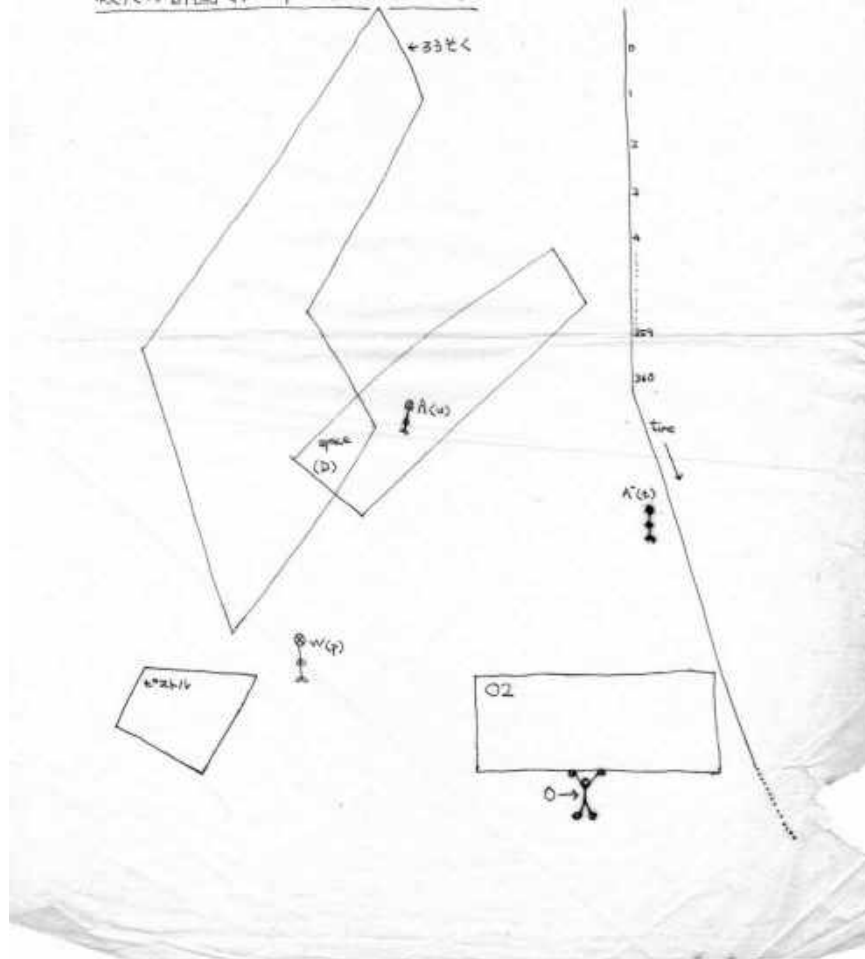
「1986/4.8」と日付が入っている。人物や車や動物などをまぜこぜにした絵をだいぶ描いていなかったの、久しぶりに試してみたのだ。結局、これが最後になった。以前より絵の質が劣化している(以前の質云々は措いて.....)。なぜかサインペンを使って、迷いなく線が引かれているという良い点もあるのだが。絵を描く原動力がほとんど失われていたようだ。理由は不明。落書きなのだから、いつ、どんな風に描いてもいいはずなのに、この時期、何か心境の変化があったとも思えない。

このままだと来んてゆきます。

海底の時間は圧縮されて ゆらめくこともない神妙に

記号化された眼りを溶かしてしまいます。

殺人の計画 (1-optu02-360D)



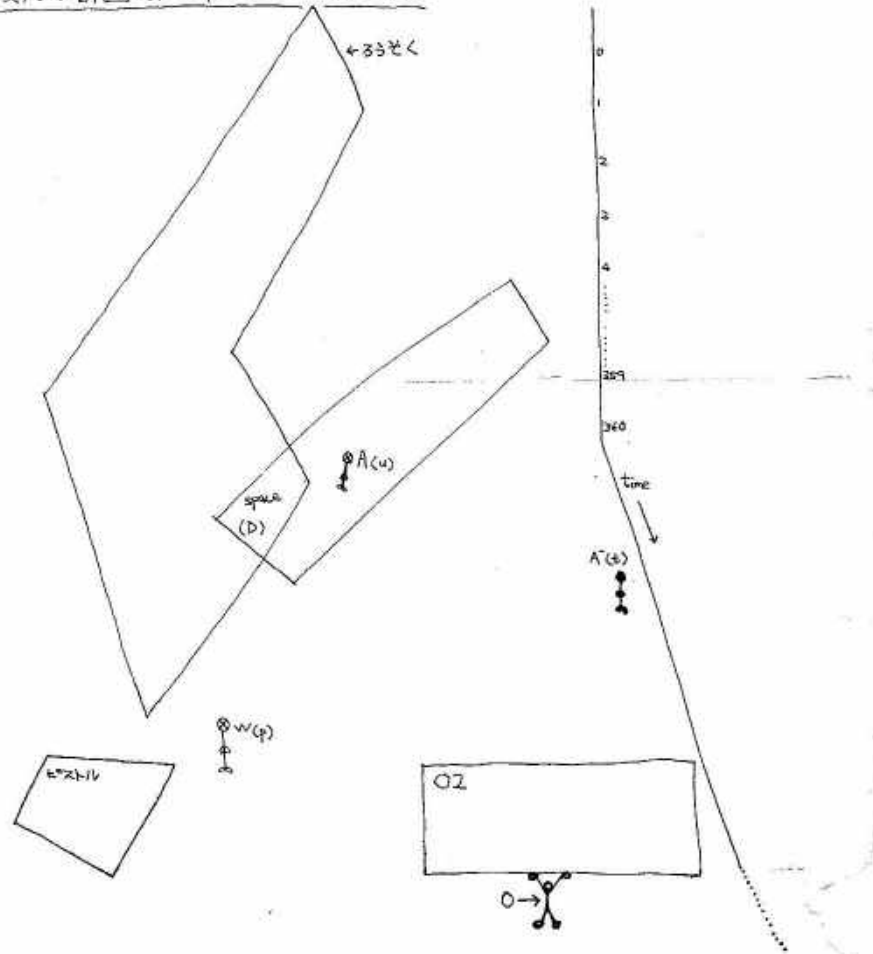
『横書き詩集1』に掲載した5枚を再掲する。あちらは画質の劣化が甚だしくて残念だったので。これらの絵は実際にはトレーシングペーパーに描いたもので、「実物」はだいぶ印象が違います。

このままだと沈んでゆきます。

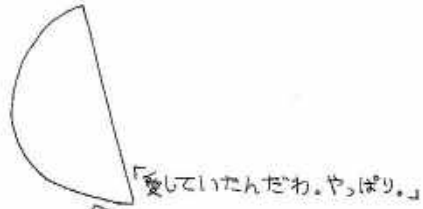
海底の時間は圧縮されて ゆらめくこともないままに

記号化された崩りを溶かしてしまします。

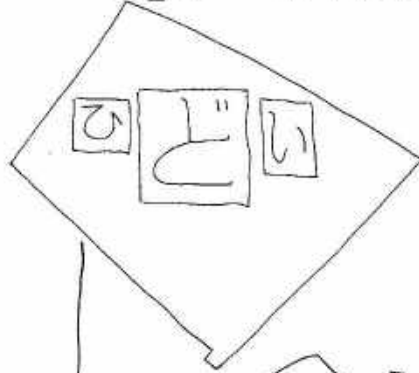
殺人の計画 (1-opt_u02=360D)



眺発。



「愛していたんだわ。やっぱり。」

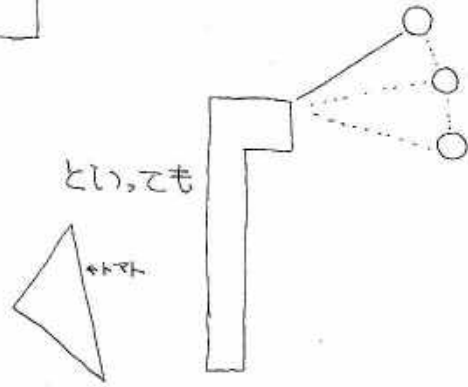


「なぜ」

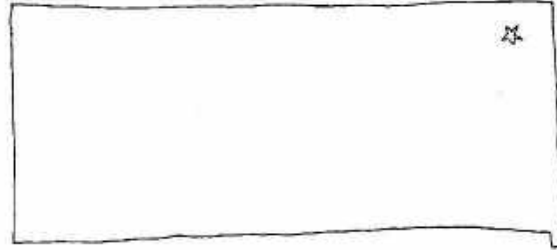
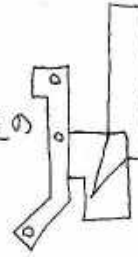


うそだ。うそといゆるめなんてくりふるすめいりやんとけまなんなんて。

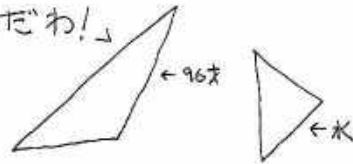
は、た。



りむとぬぬすいとむりんくす。
 しんすみるねかるるほほいて、
 りんくるといふ少女の胸に、燃える宇宙の星の
 ていふわけんするねもんやん。

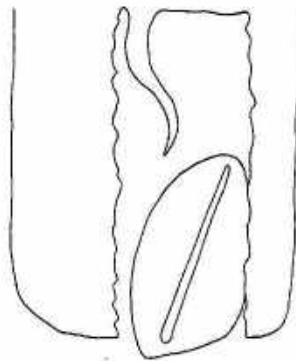


「そうだわ!」

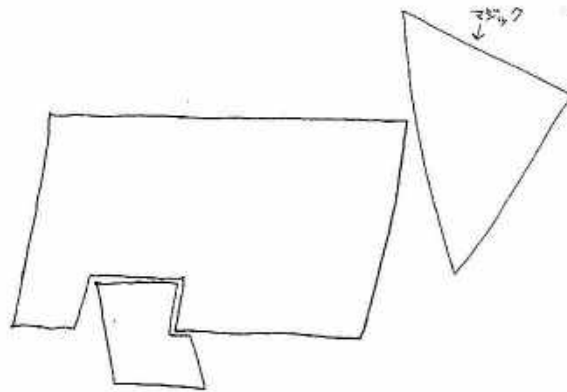




はいでもんすたあ。



重症倉庫胸学問論的中行初年。



「もう終わるのですか」

どう、それは地球の人間の考えそうなこと。

それは建築だ。

→は、たりをきかせた

→次々

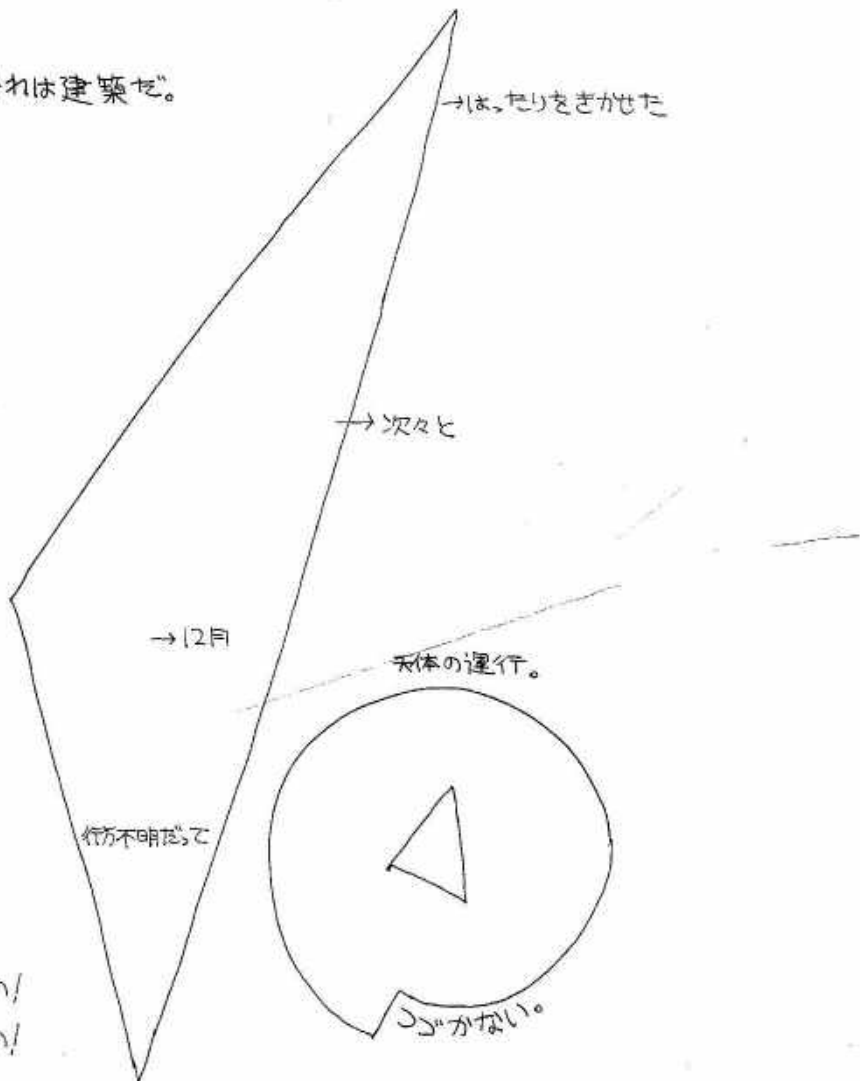
→12月

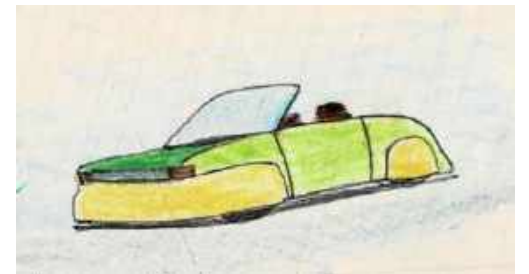
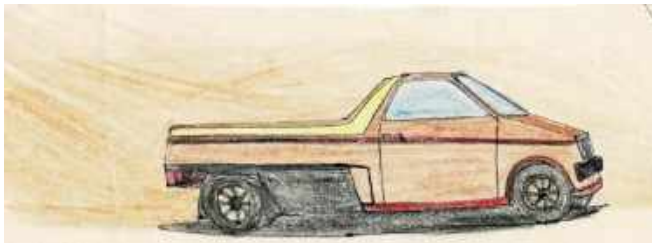
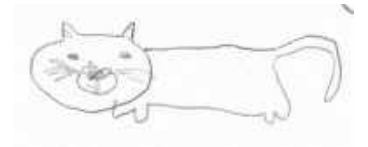
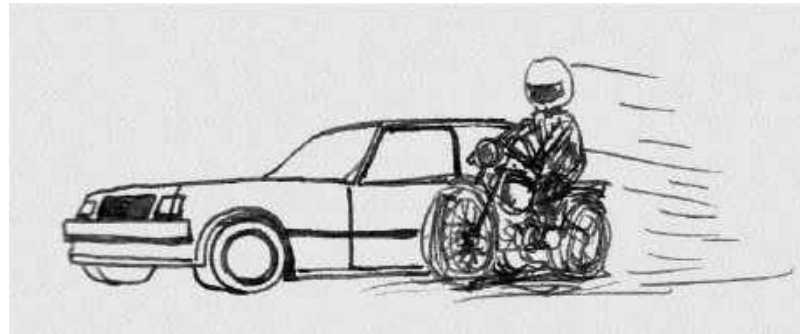
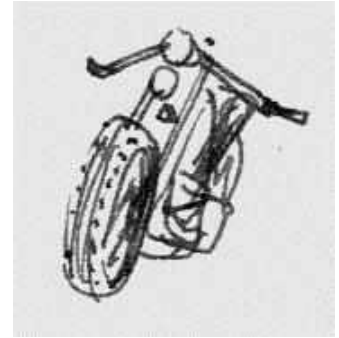
天体の運行。

行方不明だて

新しい/
新しい!

うごかない。





落書帳

発行 令和2年9月10日

著者 伊井直行 II Naoyuki ©2020

発行所 レワニワ書房 <https://rewaniwa.com/>

Rewaniwa